

第 9 回シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」－産・学・公による多様な連携－

8 月 24、25 日に横浜国立大学にて開催

「持続可能な水道システムの確立」企画委員会（横浜市保土ヶ谷区、委員長、清塚雅彦【横浜市水道局 担当理事 配水部長 水道技術管理者】）は、「第 9 回シンポジウム『持続可能な水道システムの確立』－産・学・公による多様な連携－」の開催を発表し、本日より参加者の募集を開始いたしました。

「持続可能な水道システムの確立」企画委員会は、横浜国立大学大学院 工学研究院と共催で、平成 26 年よりシンポジウム「持続可能な水道システムの確立」を開催して参りました。昨年は 8 月 25、26 日に「第 8 回シンポジウム『持続可能な水道システムの確立』～次世代水道を見据えた先進事例～」と題し、全国の水道事業体をはじめ、定員を超える 202 名のご参加をいただき大盛況のうちに終了しました。本年度も引き続き標記シンポジウムを開催する運びとなりました。

今回は「産・学・公による多様な連携」をテーマに、学公、公民、公公連携や広域化の取り組みについて、全国の規模の異なる事業体を中心に 11 件の講演を予定しています。また本シンポジウムには毎年多数の方々に参加されており、お互いの交流を深めるとともに情報交換の場としても高い評価を頂いています。



昨年のシンポジウムの様子

■第9回シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」一次世代水道を見据えた先進事例ー

日時	平成29年8月24日(木)、25日(金) 24日：10:00～16:45 交流会：17:15～19:00 25日：9:30～17:00
会場	横浜国立大学理工学部 講義棟 A-107
定員	200名(先着順)
参加費	2日間で12,960円、交流会参加者は別途交流会参加費1,000円(当日会場で支払)
募集期間	平成29年5月9日(火)～7月28日(金)(定員になり次第締め切ります。)
主催	「持続可能な水道システムの確立」企画委員会
共催	横浜国立大学大学院 工学研究院
後援	厚生労働省生活衛生・食品安全部水道課、 岡山市水道局、神奈川県企業庁、神奈川県内広域水道企業団、川崎市上下水道局、北九州市上下水道局、神戸市水道局、さいたま市水道局、札幌市水道局、仙台市水道局、千葉県水道局、東京都水道局、名古屋市上下水道局、新潟市水道局、八戸圏域水道企業団、阪神水道企業団、福岡市水道局、横須賀市上下水道局、横浜市水道局 塩化ビニル管・継手協会、(公財)給水工事技術振興財団、(公財)水道技術研究センター、 (一社)全国上下水道コンサルタント協会、(公社)日本水道協会、日本水道鋼管協会、(一社)日本水道工業団体連合会、(一社)日本ダクタイル鉄管協会、配水用ポリエチレンパイプシステム協会、(公社)腐食防食学会、(公財)横浜観光コンベンションビューロー、 (株)水道産業新聞社、(株)日本水道新聞社、
運営受託	株式会社ベンチャー・アカデミア(横浜国立大学 大学研究成果活用企業)
Webサイト	http://www.v-academia.jp/e_swss/

■本件に関するお問い合わせ

株式会社ベンチャー・アカデミア(「持続可能な水道システムの確立企画委員会」事務局)

担当：稲木倫道(いなぎのりみち)

TEL：(045)718-5325

E-Mail：symposium@v-academia.jp

住所：神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター 研究棟204

Webサイト：http://www.v-academia.jp/e_swss/